

平成30年度 福井県職員採用I種試験概要

- 申込書配布開始日 : 5月14日(月)
- 受付期間 : 5月16日(水)～5月31日(木)
- 第1次試験 : 6月24日(日)

平成30年度変更点

- ・「機械・金属」の専門試験を記述式から択一式に変更します。
- ・「農林業」の専門試験の出題分野を一部変更します。
- ・外国語資格加点の要件を変更します。(試験区分「警察事務」、「情報処理(警察)」、「生物(警察)」を除く。)

- 第1次試験会場 : 福井県立大学(永平寺町)・中央大学理工学部(東京都)

※申込書は5月14日(月)にホームページにも掲載します。

1 試験区分、採用予定人員および職務内容

試験区分	採用予定人員	職務内容
行政	44人	知事部局、教育委員会等の各課および出先機関における一般行政事務に従事
福祉・心理	2	知事部局等の各課および出先機関における専門的業務に従事(採用後は、受験した試験区分(職種)以外の業務に就くことがあります。)
電気	4	
土木(総合)	10	
建築	2	
化学	2	
農林業	9	
水産	2	
薬剤師	6	
機械・金属	4	
司書	1	
警察事務	10	警察本部および警察署に勤務し、警察事務に従事(この勤務には、深夜、時間外、交替制等の変則的な勤務を含むことがあります。)
情報処理(警察)	1	警察本部における専門的業務(システム開発等)に従事
生物(警察)	1	警察本部(科学捜査研究所)に勤務し、専門的知識をもって犯罪捜査のために必要な血液型・DNA型等に関する鑑定および研究に従事

※ 採用予定人員は変更になる場合があります。

2 受験資格

試験区分	受験資格	
	資格免許	年齢および学歴
下記以外	必要なし	次のいずれかに該当する者 ① 昭和59年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた者（学歴は問いません。） ② （いわゆる飛び級、飛び入学による大学卒業（見込み）者の特例）平成9年4月2日以降に生まれた者で、学校教育法による大学（短期大学を除き、人事委員会が同等と認めるものを含む。）を卒業した者または平成31年3月31日までに卒業見込みの者
薬剤師	薬剤師の免許取得者または平成31年4月30日までに免許取得見込みの者	
司書	司書の資格取得者または平成31年3月31日までに資格取得見込みの者	

ただし、次の各号のいずれかに該当する者は受験できません。

- ① 日本の国籍を有しない者（司書を除く。）
- ② 地方公務員法第16条の欠格条項に該当する者
 - ア 成年被後見人または被保佐人（準禁治産者を含む。）
 - イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの者
 - ウ 福井県において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - エ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した者

3 試験の方法

次により、第1次試験と、第1次試験合格者に対して第2次試験を行います。
なお、筆記試験は大学卒業程度で行います。

(1) 第1次試験

試験種目 【配点】	内 容
教養試験 【100点】	公務員として必要な一般的知識および知能について、択一式による筆記試験を行います。[50題必須解答] [150分]
専門試験 【200点】	試験区分に応じた専門的知識および能力について、択一式（司書および情報処理（警察）は記述式）による筆記試験を行います。なお、問題は別表に掲げる出題分野から出題します。[出題数 別表参照] [120分]
適性検査 I	公務員として職務遂行上必要な素質および適性を有するかどうかについて検査を行います。

(2) 第2次試験

試験種目 【配点】	内 容
論文試験 【100点】	県政の課題に対する理解度、思考力および文章による表現力等について、記述式による筆記試験を行います。 [70分]
口述試験 【400点】	受験者の人柄、性格、職務遂行能力等について、集団討論および個別面接を行います。(詳細は、第1次試験の合格者にお知らせします。)
適性検査Ⅱ	公務員として職務遂行上必要な素質および適性を有するかどうかについて検査を行います。
外国語資格加点	英語の一定水準以上の語学資格を有する方について、一定点を加点します。

(3) その他

受験資格の確認	第1次試験の合格者に対し、受験資格の有無について証明書等で確認します。
---------	-------------------------------------

※ 最終合格者は、第1次試験および第2次試験の成績を総合して決定します。

※ 外国語資格加点について

試験区分に応じ、以下のとおり第2次試験の総合得点に加点します。

なお、複数の資格等を取得している場合でも、申請できるのは一つの資格等に限りません。

【行政、福祉・心理、電気、土木（総合）、建築、化学、農林業、水産、薬剤師、機械・金属、司書】

	基 準	加 点
英語	TOEIC 730 点以上	20 点
	TOEFL iBT 80 点以上	
	実用英語技能検定 準1級、1級	

【警察事務、情報処理（警察）、生物（警察）】

	基 準	加 点
英語	TOEIC 730 点以上	20 点
	TOEFL iBT 80 点以上	
	実用英語技能検定 準1級、1級	
	TOEIC 600 点以上	10 点
TOEFL iBT 65 点以上		

- ・有効期限があるものについては、有効期限内のものに限ります。
- ・団体受験用の TOEIC-IP についても認めます。

別 表

試験区分	専門試験出題分野	出題数
行政 警察事務	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、財政学、経済事情、政治学、行政学、社会政策、社会学、国際関係、心理学、教育学	60 題中 40 題 選択解答
福祉・心理	社会福祉概論（社会保障を含む。）、一般心理学（心理学史、発達心理学および社会心理学を含む。）、応用心理学（教育心理学、産業心理学、臨床心理学）、心理学概論（社会心理学を含む。）、社会学概論、社会調査、調査・研究法、統計学	50 題中 40 題 選択解答
電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学	40 題必須解答
土木 (総合)	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、材料・施工、都市計画、土木計画、土壌物理、農業水利、土地改良、農地造成、農業造構、農学一般	50 題中 40 題 選択解答
建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工	40 題必須解答
化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学	40 題必須解答
農林業	次のA、Bの各分野のうち、どちらか一方の分野から 30 題解答し、残るもう一方の分野から 10 題解答する。 A (90 題) ：栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、農業経済一般、一般化学、分析化学、有機化学、生物化学、食品科学、応用微生物学、家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学 B (30 題) ：森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む。）、林業工学、林産一般、砂防工学	120 題中 40 題 選択解答
水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学	40 題必須解答
薬剤師	物理・化学・生物、衛生、薬理、薬剤、病態・薬物治療、法規・制度	40 題必須解答
機械・金属	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作	40 題必須解答
司書	生涯学習概論、図書館概論、図書館情報技術論、図書館制度・経営論、図書館サービス概論、情報サービス論、児童サービス論、図書館情報資源概論、情報資源組織論	8 題必須解答
情報処理（警察）	数学、情報処理一般、ハードウェアの知識、ソフトウェアの知識、プログラム作成、通信ネットワーク、情報セキュリティ等	5 題必須解答
生物（警察）	数学、物理・化学・生物、薬理、薬剤、分析化学、有機化学、生物化学、統計学	40 題必須解答